

林業イノベーションに触れるイベントへ 足を運んでみませんか

林野庁では、令和元年12月に策定した「林業イノベーション現場実装推進プログラム」に基づき、林業イノベーションの取組を進めてきており、現場実装のさらなる加速化に向けて、7月にプログラムのアップデート版を公表しました。^{※1}この中で、①通信技術活用の将来像の追加、②林業の課題を8分類35課題に整理し、課題に対応する異分野を含めた技術をリスト化、③技術の開発や普及を着実に進めるためのプラットフォームとして森ハブを位置づけるなどのアップデートを行っています。^{※2}

このプログラムに位置づけられている新技術の一例として、集材・運材作業の自動化に向けたセンシング技術を活用した取組をご紹介します。森林内は、地形が複雑かつ立木等に遮られ、電波が減衰しやすく無線通信が困難な場所が多いです。また、GNSS等の測位情報も不安定で、精度も低下します。このような条件が厳しい森林内において、路網をセンシングしながら、自己位置を把握し、フォワーダ等の自動走行を目指すものです。令和4年度も自動走行の精度向上を目指し、開発・実証を継続しています。



・フォワーダの遠隔操作走行の実現
・20m程度の自動走行に成功
(令和2年度)



・ベース車の荷台を、クランバンプ仕様に改良
・自動走行とラジコン操作を組み合わせた無人集材作業に成功
(令和3年度)

※1



プレスリリース
「林業イノベーション
現場実装推進プログラム」
のアップデートについて

※2



林野庁ウェブサイト
「林業イノベーション
ハブセンター(森ハブ)」

林業イノベーションに関連する展示会の紹介

このような林業イノベーションに関する最新の動向に触れることができるイベントを2件ご紹介します。是非足を運んでみてください。

FORESTRISE2022 (第3回次世代森林産業展)

令和4年9月14日(水)～16日(金) [東京ビッグサイト]

産経新聞社(林野庁後援)による、林業の生産性、安全性、収益性を向上させる技術や機械を一堂に会して、林業における次世代テクノロジーの利活用を発信する国際見本市です。

林業の知識習得や現場の課題解決、DX(デジタル変革)の社会実装を促す関連セミナーなども開催されます。



FORESTRISE2019(写真:産経新聞社)

森林・林業・環境機械展示実演会

令和4年11月13日(日)～14日(月)

[大分県別府市RECAMP別府志高湖及び周辺森林]

大分県と(一社)林業機械化協会によるこの展示実演会では、先進的な林業機械の実演や林業分野で活躍するドローンの飛行が計画されています。



森林・林業・環境機械展示実演会(2021年)